

JASO推奨品・施工法指定 第6号「ストラブ・グリップGタイプ」のご紹介

1. 第6号JASO推奨品・施工法について

技術情報委員会は、JASO推奨品・施工法制度の第6号として、ショーボンドマテリアル㈱のメカニカル管継手「ストラブ・グリップGタイプ」について審査し、推奨品に指定し、2018年12月に理事会にて承認されました。

2. 製品の概要

ストラブ・グリップGタイプは、ステンレス製で内部にゴムスリーブがついた、配管用のメカニカル継手です。従来のメカニカル継手は、配管の抜け防止として、管端部にネジ切りやグルーピングといった二次加工を必要としていましたが、独自の脱管防止構造により、管端部の加工をなくし、2本のボルト締め付けでグリップリングが配管の表面にくいつき固定される構造となっています。二次加工が不要なため短時間で施工でき、ボルト締めができるスペースがあれば狭小な現場でも施工できます。

3. ストラブ・グリップGタイプの特徴

皿バネの原理を応用し開発されたグリップリングは、地震等の外力により発生する曲げモーメントを吸収し、継手自体の疲労破壊を最小限に抑えます。通常想定される地震動に対して十分な耐震性能があるものとして（財）日本建築センターの技術評価を得ています。この継手を使用した被災事例として、阪神淡路大震災では埋設管において管部分は曲がったものの継手部分は外れなかった例や、東日本大震災では橋梁に設置されていた配管で津波にも耐えた例があるとのことです。



ストラブ・グリップGタイプ

推奨工法の指定理由

- ・プラント、工場等及びねじ接合で施工された建物の改修時や、施工場所の狭く限られた現場において、配管の二次加工が不要であり、緊急時対応の継手として適している。さらに前後に抜け防止の支持材との併用があれば、脱落防止に有効である。
- ・また、2017年熊本地震のような連続する大地震時の応急復旧の仮設継手にも有効であろう。
- ・通常想定される地震動に対して十分な耐震性能をもつものとして平成元年に財団法人日本建築センター 配管継手評価委員会の評価書（BCJ-特2-配管継手）を得ている。

（坪内真紀）